科目名 (Eng)	建設環境法規 (Laws and Regulation for Public Works)								
担当教員	金子研一								
対象学年等	学科・専攻・学年		授業期間・区分・単位数・時間数				分野	形態	学修単位科目
	建設環境工学科	5	後期	選択	1	30	専門	A	
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(A-5), (B-2), (C-1).								
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：1), 2), 3)								
	JABEE基準1(1)：(b), (d)-(2)-a), (h)								
授業の概要と方針	環境関連法および環境汚染関連防止法を中心に、建設環境および建設実務に関連の深い法令と、その背景に在る社会の動向を把握する。								
到達目標	①廃棄物処理、環境アセスメントなどの手続きを理解し、基本的な用語を説明できる。 ②法令集を見ながら、環境汚染防止関連の法令を遵守できる能力を修得する。 ③労働安全衛生法、河川法、港則法など環境関連法以外の法律について、１級土木施工管理技士試験問題範囲の内容を理解し、70％以上の正解ができる。								

授業計画

	週	授業項目	理解すべき内容	事前学習
後期	16	建設環境法規の概要	公害対策基本法、歴史	教科書を読む
	17	環境関連法１	環境基本法	教科書を読む
	18	環境関連法２	廃棄物処理法、マニフェスト制度	教科書を読む
	19	環境関連法３	循環型社会推進基本法、リサイクル関連法	我が家のゴミ処理を考える 家電製品の処理はどうするか
	20	環境アセスメント法	環境影響評価法	教科書を読む
	21	国際環境法	京都議定書	ＣＯ2削減について 新聞等の調査
	22	後期中間試験		
	23	環境汚染防止関連法１	大気汚染防止法、じん肺法	アスベストについて調べる
	24	環境汚染防止関連法２	水質汚濁防止法	環境工学の復習
	25	環境汚染防止関連法３	騒音規制法、振動規制法	dBとは何か調べる
	26	環境汚染防止関連法４	土壌汚染対策法、工業用水法	ダイオキシンについて調べる
	27	建設関連の法律１	労働安全衛生法１（型枠支保工、足場）	建設経営学（安全）の復習
	28	建設関連の法律２	労働安全衛生法２（山留、トンネル）	施工法の復習
	29	建設関連の法律３	河川法、海岸法、公有水面埋立法	小名浜港見学時の資料復習
	30	総括		

試験について	中間試験は授業時間中に50分間の試験を実施する。期末試験は50分間の試験を実施する。
評価方法	定期試験の結果を80％、毎時間終了前に実施する小テストを20％として総合的に評価する。
教科書	新よくわかるISO環境法, 改訂第５版、ダイヤモンド社
参考書	環境六法、平成23年度、中央法規出版
関連科目	建設経営学
履修上の注意	代表的な法令の条文は配布プリントや法令集、インターネットにより確認すること。新聞を良く読み、社会問題になっていること、これからの日本の方向を理解する。